



ちびっ子自然体験③ in 太閤山ランド



さあ、出発だ！

ことができ、自然を体いっぱい体験できました。

今回は、太閤山ランドの協力でトンボやチョウなどの標本があり、ねいの里ではできない充実したイベントとなりました。

来年度も実施したい企画です。

＜捕獲生き物(一部)＞

これ、何かわかる？

(ウチワヤンマ)

(カナヘビ)

(スズメガの幼虫)



ホウホウクイズを見よう



アッ！つかまえた



太閤山荘

ねいの里フォトコンテスト作品募集

第3回ねいの里フォトコンテストの作品募集中です。10/26(日)が締切ですので、応募はお早めに。①微笑ましい ②植物 ③生き物 の3部門のどれにでも応募できます。

応募作品は、ねいの里か野鳥の園で撮影した写真に限ります。入賞作品は、ねいの里来館者の人気投票で決定します。難しい写真技術は考えなくても大丈夫！ 無邪気な姿、珍しい植物、虫の変な生態など何でもOK。

応募の詳細は、ホームページで確認して下さい。賞品も用意していますので、たくさんご応募してね。

＜昨年度入賞作品＞



微笑ましい部門



植物部門



生き物部門

第32回 おもしろ科学の祭典 (8/3)

8/3(日)、北陸電気保安協会ビルで開催された「2025 青少年のための科学の祭典 第32回 おもしろ科学の祭典」に参加しました。

この祭典は、主に県内の教育関係者らにより「未来を担う子供たちが、科学に親しみ、体験を通じて、その楽しさ、不思議さを実感できる場」として、毎年開催されています。

ねいの里のブースは、「生き物を大きくして観察してみよう！」をテーマに、昆虫や爬虫類などを顕微鏡で拡大して、普段は気づかない発見をしてもらい、自然や生き物の面白さ・魅力を感じてもらうのが狙いです。来場者は、昆虫などの細部の形状を観察し、とても楽しそうでした！

また、タヌキ3兄弟クイズもブース内で実施。クイズをしながら可愛いタヌキの剥製などに触れ、みなさん癒されている様子でした。

来年もまた、祭典名に変わらず、自然に関する「おもしろブース」を出展する予定ですので、自然塾の会員のみなさんもぜひ、遊びにきてくださいね！



ブース全体はこんな感じ



タヌキクイズ！
クイズして触って



綺麗なタマムシを拡大して観察



ボランティアの中学生たちも手
伝ってくれました！

世界のカブトクワガタ展 (7/19,20,21)

昨年の「世界のカブトクワガタ展」を今年も実施しました。約80種類の世界のカブクワが、ねいの里に来てくれました！

有名なヘラクレスオオカブトやギラファノコギリクワガタなど、カッコいいカブクワを見て、来館した子供たちは大興奮！目を輝かせて様々な飼育ケースを覗いていました。

3日間の緊急企画にもかかわらず、たくさんの来園があり大盛況でした。



ホウホウクイズ : 1 ページ目の中央写真の「これ 何かわかる？」の虫の名前は？

● (7/27) **ちびっ子自然体験 ③**

今回は、太閤山ランドでコラボ企画として実施。ランドの広場で虫捕りをしたあと、太閤山荘(合掌造り)で捕獲した生き物の説明をしました。

猛暑の中でしたが、子供たちも元気に虫捕りに挑戦して、たくさんの生き物を捕獲できました。

(表紙に詳細記事アリ)



モンキアゲハ



● (8/9) **トンボ調査と標本作り**



夏休みの自由研究にピッタリな行事を今年も開催！調査パートでは、水辺は猛暑日の炎天下で心配でしたが、昆虫好きな子供たちは、様々な種類のトンボを追いかけて最後まで元気いっぱい！オニヤンマなど計 11 種類のトンボを観察できました！

その後、トンボの標本をみんなで作製！シャープの芯をトンボの体に入れて、壊れないようにする作業に少し苦戦する子もいましたが、最後には全員きれいに完成しました！

● (8/23, 24) **トリックアート展**



スマホカメラで覗くと、猫が空中に浮かんだりクモが穴の中に入ったり、大きな棘が刺さったりと「なんで？」がいっぱい。

参加者の感想は、カメラで覗いたら見える不思議な世界に「不思議！何これ！！」の連発でした。



講師サービスのワークショップでは、ニコニコがいっぱい。ふしぎ世界を堪能した 2 日間でした。



● (9/20) **星空観察会と虫の声を聞こう**

今年も、富山県立大天文部の学生を講師に招き、星空の話をしてもらいました。子供たちだけでなく大人も、お兄さんお姉さんの話に聞き入っていました。



手作りプラネタリウム



当日は、生憎の雷雨で、参加者が少なくじっくりと室内で楽しむことができました。特に、天井に星空を投影しての解説中は、参観者みんなが仰向けに寝ころんで見ていました。

学生手作りのプラネタリウムも人気でした。また、虫の話やその声も楽しむことができて、秋を感じるひと時でした。



学生の星空解説

ねいの里 これからの行事案内

● 10月5日(日) キノコ狩りときのご鍋を楽しむ (共催; 自然塾の会)

時 間: 9:30~12:00 場 所: ねいの里

対象者: 一般 定 員: 100名 参加費: 200円(キノコ鍋試食)

園内でキノコを採集し、講師の鑑定を受けられます。キノコ鍋の試食もできます。



● 10/11, 12, 13, 19, 26(土, 日) 川越ゆりえ「心の虫展」ワークショップ (共催; 自然塾の会)

時 間: 10:00~12:00、13:00~15:00

場 所: ねいの里レクチャールーム

対象者: どなたでも(小学生以下は保護者同伴) 定 員: 各回10名

材料費: 400円/人

川越ゆりえが、あなたの「心の感情」を「虫の姿」に置き換えた作品作りをレクチャーします。

● 10月19日(日) 森の宝石箱

時 間: 10:00~11:30

場 所: ねいの里

対象者: 一般(家族)

定 員: 20名

参加費: 無料

森で見つけた宝物を調べ、ラベルを添えて自分だけの宝石箱を作ってみませんか。

* 11/24(祝)まで、ワークショップ実施

● 10月26日(日) ちびっ子自然体験④ (自然塾卒あり)

時 間: 10:00~12:00、13:30~15:30 (2回実施)

場 所: ねいの里

定 員: 各30名

参加費: 無料

対象者: 未就学児、小学校低学年(保護者同伴)

秋の草むらでバッタやカマキリを探します。



● 11月8日(土) 雑木林探検

(自然塾卒あり)

時 間: 9:00~12:30

場 所: ねいの里

対象者: 小、中学生

定 員: 30名(子供)

参加費: 無料

樹木の伐採見学、枝切り体験、木登り体験などで森の管理の大切さや森の楽しみ方を学びます。

伐採した薪で焚火を楽しもう!

● 11月16日(日) 森の材料でキノコを作ろう

時 間: 10:00~12:00

場 所: ねいの里

対象者: 小学校3年生以上(保護者同伴)

定 員: 10名

参加費: 無料

森の整備で出た木や枝を使って、ナイフで小さなキノコのオブジェを作ります。

● 12月6日(土) ミツロウシートでキャンドル作り (共催; 自然塾の会)

時 間: 10:00~12:00、13:30~15:30

場 所: ねいの里

対象者: 一般

定 員: 各回10名

参加費: 500円/人

養蜂で使うミツロウシートで簡単なキャンドルを作ります。ミツバチの話もあります。



● 春の七草頒布・・・資源保護のため中止します。

***** <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい> *****

受付期間は、行事実施日の1ヵ月前から1週間です。

■ 特別展示

09/06~10/09 ねいの里キノコ写真展

10/11~10/26

川越ゆりえ「心の虫」展

11/01~01/12

ねいの里写真コンテスト人気投票

12/17~01/15

春の七草実物展

12/20~01/26

富山県ナチュラリスト協会写真展



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 荒屋 健治

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel ; 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>



ハウホウクイズの解答: 「タイコウチ」じゃ。ねいの里では、見かけない虫の一つじゃぞ。